

# 「みやぎ環境税」 自然豊かな環境を 次世代へ

～平成29年度事業を紹介します～

宮城の豊かな環境を守り、次の世代へ引き継いでいくために、県では平成23年度から「みやぎ環境税」を導入し、「新みやぎグリーン戦略プラン」で定め「みやぎの目指す姿」の実現に向けて、さまざまな事業に取り組んでいます。今回は、本年度に実施する主な事業を、4つの視点に分けて紹介します。

## ～みやぎの目指す姿～

- 低炭素社会の構築に向け、地域から環境配慮の生活・行動様式を進める宮城県
- 地球温暖化防止と美しく安全な県土づくりに向け、豊かな森林を活かし育む宮城県
- 自然共生社会の構築に向け、人と自然環境との輪を地域から守り育てる宮城県

## ～事業件数と環境税充当額～

- 県実施事業 50事業 / 16億3539万円
- 市町村支援事業
- (1) メニュー選択型事業 / 2億7010万円  
以下の6つの事業メニューから、市町村が選択し実施する事業  
① 公共施設・学校などの二酸化炭素削減対策  
② 街灯や商店街などの屋外照明のLED化 ③ 自然環境保全対策  
④ 野生鳥獣対策 ⑤ 環境緑化推進 ⑥ 省エネ機器導入促進
- (2) 市町村提案型事業 / 5000万円  
市町村が創意工夫して行う地域の環境課題解決に向けた事業

### 問い合わせ先

みやぎ環境税に関するお問い合わせ先  
 県環境政策課  
 ☎022(211)2661  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/>  
 県税務課  
 ☎022(211)2666  
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/zeimu/>

## 視点 1

### 低炭素社会の推進

14事業 / 7億724万円

環境配慮と経済発展が両立する地域社会を構築するため、事業者や家庭における積極的な二酸化炭素の削減に向けた取り組みを推進します。

#### 主な事業

■ 省エネルギー・コスト削減実践支援事業 / 1億5000万円

県内事業者の省エネルギー設備(高効率の照明器具、空調機、ボイラーなど)導入に対する助成  
 ● 補助率 1/2 ~ 1/5



高効率のコンプレッサー

■ みやぎ温暖化対策地域推進事業 / 643万円

一般家庭の省エネ対策をアドバイスする「うちエコ診断」(無料で受診可)の実施支援など



うちエコ診断

■ スマートエネルギー住宅普及促進事業 / 3億178万円

家庭用の太陽光発電システム、蓄電池、燃料電池、ネット・ゼロ・エネルギーハウス\*の導入および既存住宅の断熱改修に対する助成

● 補助額 定額(断熱改修は対象経費の1/10以内)

\*「快適な室内環境」と「年間で消費する住宅のエネルギー量が正味でおおむねゼロ以下」を同時に実現する住宅

## 視点 2

### 森林の保全・機能強化

11事業 / 7億9967万円

二酸化炭素の吸収機能など多面的機能を持つ森林や里山の管理・保全および森林資源活用に向けた取り組みを推進します。

#### 主な事業

■ 温暖化防止森林更新推進事業 / 7430万円

環境に配慮した伐採地での植栽、保育などに要する経費への助成、津波で被災した海岸防災林復旧のためのクロマツ種苗の増産など  
 ● 補助率 定額(植栽は150万円/ha以内)



適切に更新された森林

■ 県産材利用エコ住宅普及促進事業 / 3億5750万円

県産材を一定以上利用した木造住宅の新築への助成および優良みやぎ材生産工場の生産・保管経費への助成

● 補助額 50万円以内/1棟



県産材を使用した住宅

■ 県産材・木のビルプロジェクト推進事業 / 1億円

新たな木材需要の創出が期待されるCLT(直交集成板)などを用いたモデル施設の建設への助成

● 補助額 5000万円以内/1棟



CLTを使用した木造建築物

## 視点 3

### 生物多様性・自然環境の保全

15事業 / 6843万円

生物多様性を育む豊かな自然環境の保全・再生のための取り組みを推進します。

#### 主な事業

■ 蔵王山自然景観保全修復事業 / 300万円

降雨などによる表土の流出で植生の衰退が一部で発生している蔵王山での自然植生保全対策の検討



木道沿いの植生の衰退状況

■ 野生鳥獣適正管理事業 / 1306万円

野生鳥獣の適正管理や地域の自然生態系保全を強化するための鳥獣被害対策専門指導員の配置など

■ 伊豆沼・内沼よみがえり 在来生物プロジェクト事業 / 1200万円

ゼニタナゴなどの在来生物の生息確保対策、ブラックバスなどの外来生物の駆除および駆除技術の普及など

#### ゼニタナゴが見つかりました!

平成8年以降伊豆沼から姿を消していましたが、平成27年、ゼニタナゴが19年ぶりに確認されました。事業による保護活動やボランティアによる熱心な外来魚駆除活動のたまものです。



絶滅危惧種ゼニタナゴの保護

## 視点 4

### 環境共生型社会構築のための 人材の充実

10事業 / 6005万円

持続可能な地域社会の構築に貢献する人材の育成や環境教育の一層の充実を図る取り組みを推進します。

#### 主な事業

■ こもれびの森 「森林科学館」改修事業 / 2400万円

森林環境教育や人材育成の拠点である森林科学館の展示施設の改修



こもれびの森「森林科学館」(栗原市)

■ 児童・生徒のための環境教育推進事業 / 188万円

NPO(特定非営利活動法人)などと連携した環境教育出前講座や環境配慮取組発表会の実施など

■ パリ協定温暖化対策強化事業 / 495万円

地球温暖化防止活動推進員の新規養成研修、地球温暖化防止の普及啓発事業の実施など

Q 地球温暖化防止活動推進員は  
どんな活動をしているの?

A 学校や町内会からの依頼により、環境学習の講師や家庭の省エネ対策のアドバイスをしています。環境学習や省エネに興味がある方はぜひご相談ください!

県環境政策課 ☎022(211)2661